

4つの魅力 「ジオの息吹」火山活動の歴史が見える霧島山」

鹿児島県と宮崎県にまたがる北西・南東方向にのびる広範囲に分布する20余りの火山体が集まった霧島山。ここでは、有史以前から現在に至る火山活動の歴史と、それとともに育まれた自然の多様性を体感することができます。

霧島ジオパークのテーマは、「自然の多様性とそれを育む火山活動」で、4つの大きな魅力があります。

- 日本で初めて国立公園となった理由でもある、雄大で美しく、かつ変化に富んだ景観
- 大地に刻まれた火山活動の歴史を体験できる火山の博物館
- 地球規模の環境変動と火山活動によって育まれた多種多様な植生
- 天孫降臨の舞台、日本の神話、歴史、古代史との関わり

霧島ジオパーク
イメージキャラクター
「キラリッチ」



きりしまじんぐう ふるみやあと
〔霧島神宮古宮址〕

高千穂河原にある霧島神宮の古宮址。現在の霧島神宮の場所に遷座される前に建立されていたといわれている。



ふどういけ
〔不動池〕

からくにだけ
韓国岳の北東にある直径約200メートルの火口湖。



おすすめのジオサイトを教えてください!!
霧島ジオガイド・霧島ネイチャーガイド

くちのまちあやこ
口之町 綾子さん



私のおすすめのジオサイトは、大狼池おおなみのいけです。大狼池は正式には、「大狼池火口湖」という名称で、5万年くらい前の噴火によってできた火口内に水が溜まった湖です。湖ではありませんが、比較的容易に登山できる山として紅葉の時期など特に人気です。古い時代にできたため、生えている木々は大変大きくて立派なものが多いです。大狼池を経由して韓国岳に登る方も多いため、目で見て楽しむことができ、登山をする方にも満足してもらえる山だと思います。

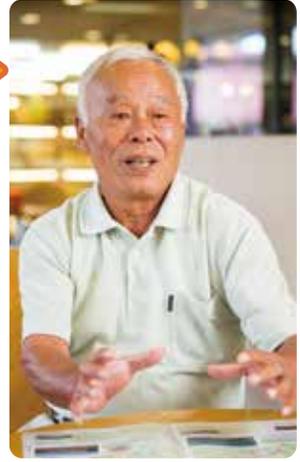
ジオガイドは、自分の興味のあることばかりではなく、地質や山々の成り立ちなど訪れる方にとって新しい発見があるように勉強しておかなければなりません。地元のことですが、山の成り立ちやなぜ植生が違うのかなど知らないことが多くありました。ジオガイドとして勉強して、学んだことを多くの方に伝えていけたらと思います。

霧島ジオパークを盛り上げる

霧島ジオパーク活性化会議事務局長

霧島ネイチャーガイドクラブ会長

ふるその
としお
古園 俊男さん



霧島ジオパーク活性化会議は、霧島ジオパークを盛り上げるために立ち上げた民間団体の集まりです。ジオパークは、行政機関だけではなく民間団体もそれぞれ積極的に取り組まなくてはなりません。県を超えて民間の力で連携しアイデアを出し、ジオパークに関する商品を作ったり、ガイドの養成に力を入れるなど、民間ベースで取り組むことは数多くあります。それととりまとめるのが霧島ジオパーク活性化会議です。

今年の世界ジオパークへの認定を逃してしまいましたが、世界ジオパーク認定に向けて、取り組むべきことは多く、一つ一つ解決することを積み重ねて、その結果で世界ジオパークが見えてくると思います。



えびのEcoコミュニケーションセンター
標高1200mのえびの高原にある、霧島の自然に親しむ入り口として気軽に立ち寄れる「センター」。

センター内には、自然、登山、ジオパーク情報のコーナーなどがあり、展示は最新の研究に基づく内容で、登山初心者の方から専門家まで楽しむことができるよう工夫が凝らされています。ジオラマ展示では、登山可能な範囲を示した模型があり、絶景ポイントなどを紹介しています。



学びの場で
〜霧島市立陵南中学校〜
りまっなん

陵南中学校では、1年生の総合学習で霧島ジオパークのことを勉強します。まずは講話などを聴いて、ジオパークの概要を学びます。

次にガイドの方について霧島の池めぐりコースを歩きながら、自分の目で見て火山や植物のこと、またガイドの仕事を勉強します。そして、その教えてもらったジオパークのことを実際に保護者に向けてガイドします。そのあと秋の文化祭で発表するまでの期間を使ってジオパークのことを学習していきます。

校内には、ジオパークに関するコーナーを設け、興味を持った生徒が自ら学習できる環境づくりをしています。自分たちでガイドをしなればならないという状況がいい緊張感を持たせています。

世界ジオパーク認定へ積極的に関わっていたので、今年認定されなかったことに生徒は少なからず残念な思いをしていたようですが、次への目標ができたと思つてこれからもジオパークを積極的に学びます。

火山・人・自然のつながり
 海まで広がる活火山の
 営みと都市の共存

九州南部の鹿児島県本土のほぼ中央に位置し、活火山「桜島」を中心として、その周辺の錦江湾海域、鹿児島市街地側の中央部から北部で構成。ここでは火山が、自然や歴史、文化、産業など多方面に影響を与え、そしてそれぞれつながりがあります。そのつながりに注目し、わかりやすく伝えるため6つのストーリーを作成しています。

- 火山がつくった地形と地質
 - 火山と自然のつながり
 - 火山と海のつながり
 - 火山と産業のつながり
 - 火山と歴史・文化のつながり
 - 火山と人のつながり
- (防災・火山との共存)

これらのストーリーをわかりやすく伝えるジオツアーや体験プログラムなどのジオパーク活動をさらに活発に展開していくほか、現在20カ所のジオサイトの環境整備などを順次行っていきます。

桜島・錦江湾ジオパークをPR

9月に日本ジオパークに認定されたことを受け、今後も桜島・錦江湾ジオパークの魅力を県内外に広くPRしていきます。

10月1日に発表されたロゴマークは、桜島と錦江湾を擬人化したキャラクターとして表現しています。

テーマである「火山と人と自然のつながり」を象徴するものとして、また、子どもから高齢者まで愛着が持てるものと

ありむらようがんでんぼうしよ

〔有村溶岩展望所〕

大正噴火による溶岩と昭和溶岩が観察できるビュースポット。
 両者の植生の違いが観察できる。

〔溶岩なぎさ遊歩道〕

全長3キロメートルの溶岩遊歩道。
 大正噴火による溶岩とその上に生育する植生を観察できる。



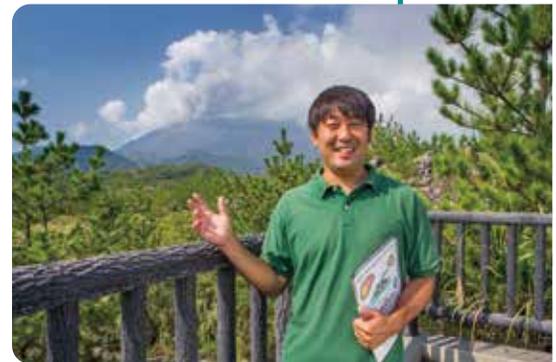
おすすめのジオサイトを教えてください!!

桜島ミュージアム

おおむら あきら

大村 瑛さん

私のおすすめのジオサイトは、黒神ビュースポット（昭和溶岩地帯展望所）です。現在も活発な噴火活動が続ける桜島の昭和火口を観察するのに適した場所です。避難壕の上に作られた展望スペースで、火山地形や植生遷移なども観察できます。ジオパークの認知度はまだ低い状況です。桜島を訪れる方も、噴火は怖いイメージだけの方もいらっしゃいます。怖れることが可能な場所だということも知ってもらうことが必要ですね。正しく怖れることが大事です。ジオパークに認定されて、教育環境が整えば防災の意識も高まると思います。そうすれば噴火は地球の活動の一つであって、怖いだけの対象ではなくなると思います。桜島を知ってもらうために、カヤックなどで錦江湾に出るプログラムもあります。掘れば温泉が出てくる海岸や溶岩の渓谷など、海から見る桜島ならではの自然や錦江湾と桜島の歴史なども紹介しています。雄大な景色だけではない違う一面も知ってもらえたらと思います。



して作成されています。ロゴマークや今後展開するキャラクターは情報発信ツールやジオツアーなどに活用していきます。



その他、認定を記念した各種イベントなども開催されます。ぜひ参加して、桜島・錦江湾ジオパークの魅力を感じましょう。

桜島・錦江湾ジオパーク誕生記念イベント開催！

①桜島・錦江湾ジオパーク誕生記念シンポジウム
桜島・錦江湾についての基調講演やパネルディスカッションなどを行うシンポジウムを開催します。

日時／11月16日(土)午前10時～午後4時
場所／国民宿舎レインボー桜島

※詳細は、市観光サイトをご覧ください。

【問】鹿児島市観光企画課

☎099(216)1344

②桜島・錦江湾ジオパーク誕生記念

第3回桜島溶岩レク・ロゲイニング大会

桜島のジオ資源などを活用したロゲイニングというアウトドアスポーツを開催します。
日時／12月22日(日)午前9時15分～午後2時
※受け付けは午前8時45分

集合場所／溶岩なぎさ公園

定員／200人(先着順)

料金／大人2000円、高校生以下1500円

※家族チームは上限5000円

※詳細は、桜島観光ポータルサイトをご覧ください。

【問】みんなの桜島協議会事務局

☎099(245)0100

〔桜島ビジターセンター〕
桜島の噴火の歴史や植生遷移などを紹介する施設。
ジオパークの拠点施設であり、ジオサイトのひとつ。



学びの場で

〜鹿児島市立黒神中学校〜

黒神中学校では、桜島・錦江湾ジオパークの認定より前から学校の総合学習として、自分たちが住む黒神の自然と文化について学習を始めた。黒神校区は、桜島の麓にあり昭和火口が間近に見られる場所にあるということで、校区の自然や文化を学ぶことが桜島について学ぶことになりました。

ジオに関する講話を聞き、また生徒一人一人が桜島の成り立ち、温泉や溶岩など個々の課題を設けて調べています。そして、平成24年には「ジオを体感できる黒神校区」の看板を作成して、訪れた方に黒神のことをもっと知ってもらえるように設置しました。

学習したことを、ジオガイドとして、黒神のジオサイトを訪れた方々に発信しています。「実際に調べたことで黒神には火山がもたらす自然の恵みがあるんだと思いました」や「自分が住んでいる黒神は素晴らしいところなんだ」など自分たちの住む地域に誇りを持つことに繋がっています。

日本ジオパークに認定されたことで、生徒の桜島のジオへの関心も深まり、「島内でまだ有名ではないジオサイトについてもっと知りたい」、「観光客が来たときにはガイドをしたい」とジオを通じてさまざまな思いを深めています。

